

# 中央労基協 Report

令和4年1月

## 新年のご挨拶

(公社)東基連

中央労働基準協会支部長 十河 英史



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様には、旧年中は当協会支部の事業運営にあたり、格別のご支援、ご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が、日本や世界を覆い始めた一昨年2020年は、国連がSDGs（持続可能な開発目標）をスタートさせた年でもありました。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、17の国際目標、169のターゲット、232の指標（2020年9月現在）を掲げ、2030年を目指し「行動の10年」をスタートさせた年。本年はその「行動の10年」の3年目を迎えることとなります。ここ数年を振り返れば、多くの災害に見舞われた記憶が蘇りますが、人との繋がり的重要性を改めて学んだ日々であったようにも感じます。

コロナ禍の中、医療従事者に感謝を伝える欧米で始まった取り組み。例えば、人々が決まった時間に外に出て、ベランダ等で拍手をする行動。日本でも同様の動きが見られましたが、感謝の思いを形にして表現する素晴らしい取り組みと感じました。

新型コロナウイルス感染症の動向は、まだまだ不透明であり、経済への影響も油断はできません。その中で迎えた新年ではありますが、コロナ禍という謂わば人類への「挑戦」に対し、懸命に「応戦」してきた2年間でもありました。その中で、人と人との繋がりを大切にする機運も高まり、様々な感染防止の取り組みも整備されてきました。コロナ禍を機に新たな変化を生み出すことができ、それが「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある社会へと繋がっていくのであれば、この「行動の10年」は歴史の新たな転換点となっていくものと思います。

当協会支部は、本年も中央労働基準監督署をはじめとする関係機関等のご指導、ご支援を頂きながら、時代の変化に対応した必要な情報の提供や、講演会、セミナーの開催などにより会員の皆様を支えて参ります。

また、東基連本部、各協会支部との一層の連携を図りながら、会員の皆様のご要望に沿った事業運営に努めてまいります。

結びに、新型コロナウイルス感染症の早期の終息と、会員企業の皆様のますますのご発展と、働く人々が安心して働ける職場づくりを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

\*令和4年1月24日に予定しておりました「新春賀詞交歓会」は、中止となりました。

発行所 公益社団法人 東京労働基準協会連合会（略称：(公社)東基連） 中央労働基準協会支部  
〒102-0084 東京都千代田区二番町9番地8 TEL03-3263-5060 FAX 03-3263-6485 <https://www.toukiren.or.jp/shibu/chuo/>



# 新年のご挨拶

中央労働基準監督署長 工藤 滝光



新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人東京労働基準協会連合会中央労働基準協会支部並びに会員皆さまにおかれましては、初春を健やかに迎えになったことと、心からお慶び申し上げます。

年頭に当たり、改めて日頃の労働基準行政へのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

さて、一昨年来猛威を振っていた新型コロナウイルスも、昨秋以降、感染者数が減少に転じ、感染防止対策に一定の成果が見えてきたところです。とは言え、一人ひとりの感染防止対策の継続が重要であることに変わりなく、日常生活や通常の仕事を行いながら、感染拡大を防止していかななくてはならない状況は今しばらく続きます。

今年は第13次労働災害防止計画の最終年であり、平成29年と比較して、死亡災害を15%以上、死傷災害を5%以上減少させるという目標が達成したか評価される年となります。労働災害が増加している現状においては、決意も新たに、労働安全衛生法の目的である「職場における労働者の安全と健康の確保」と「快適な職場環境の形成の促進」に向けて、経営トップから現場で働かれる方々一人ひとりが一丸となって取り組んでいただくようお願い申し上げます。

一方、国を挙げて取り組んでいる働き方改革は、人口減少や少子高齢化といった構造的課題を抱える日本社会が、これからの時代を生き抜くために避けて通れないものです。働く方々のエンゲージメントを高め、柔軟で多様な働き方ができる、そして、生産性の向上が可能となる職場環境づくりを着実に推進していくことが、今後の企業の体質強化にも繋がっていくものと思っております。

当署としては、本年におきましても、働きやすい職場環境実現のため、引き続き、働き方改革の推進に向けた支援とともに、労働災害防止対策や労働者の健康確保対策、長時間労働の抑制に向けた監督指導の徹底、最低賃金引上げに伴う中小企業・小規模事業者への支援、迅速・公正な労災補償の実施などに取り組んでまいります。

今後とも、働く人誰もが安心して安全かつ健康に働ける職場環境の実現と活力ある企業づくりのため、貴会とその会員の皆さま方に、一層の連携、お力添えをお願い申し上げます。

今年は寅年です。「寅」という字は、もともとは両手でもって矢柄を治す様子を表した象形文字で、矢の曲がりなくなりまっすぐになる状態を表していることから、物事が滞りなく進むことを現すとされています。会員皆さまの事業が厳しいコロナ禍においても様々な困難に負けず一直線に発展する、そのような年になることを願っております。

年頭に当たり、貴支部のご発展と会員皆さまのご健勝を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

中央労働基準監督署 職員一同

後列左端より

安全衛生課長 統括労認官 6方面主任 労災2課長 2方面主任 3方面主任 4方面主任 5方面主任  
 瀬田稔 森美穂 寛仁志 関根寿男 田村雄志 藤原良 大桑徹也 稲田俊介

前列左端より

業務課長 労災1課長 労災副署長 署長 管理副署長 監督副署長 1方面主任 過重労働調査官  
 前田利明 久保田千春 坂本真一 工藤滝光 木村恭巳 成田光志 今井義人 黒木志保

新年明けましておめでとうございます。公益社団法人東京労働基準協会連合会中央労働基準協会支部並びに会員の皆様には当署の業務運営につきまして平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。例年であれば、会員の皆様とお会いして監督署の施策をお伝えし、また、皆様方から貴重なご意見をいただくところですが、本年も新春賀詞交歓会が残念ながら見送りとなりましたので、誌面にてご挨拶させていただきます。

新型コロナウイルスが国内で一昨年の1月に初確認されてから、早いもので2年が経過しました。現在、国内の感染状況は落ち着きをみせておりますが、海外では引き続き猛威を振るっており、予断を許さない状況が続いております。この間、ウイズコロナでの働き方が定着してきたところですが、テレワークの広がりには通勤時間の減少やラッシュ緩和などのメリットをもたらす一方で職場内のコミュニケーションを図ることが難しくなり、テレワークに伴ううつ病などの新たな問題も発生しております。また、テレワークで働いていた時間の賃金が支払われないといった相談も増えており、新たな労働時間管理などが求められます。長時間労働及び解雇や賃金未払といった労働問題は大きく増加していないところですが、これからの経済の正常化に伴う労働時間の増加や、各種助成金の縮小に伴う解雇等の問題が増加することがないか注視しているところです。

こうした中、当署におきましては、オンラインによる説明会の実施、ホームページを利用した情報発信などの新しい取組を行ってきたところです。また、労働災害については新型コロナウイルスによる労働災害の影響もあって増加傾向で推移しているところですが、各種労災給付については、コロナ禍の中で早急な支援を行うため、これまででない迅速処理に努めてまいりました。今後も様々な困難が予想されることはありませんが、働く方々が安全に安心して働くことができるための労働行政に努めてまいりたいと考えております。

本年も、当署におきましては、長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害防止対策の推進、第13次労働災害防止計画に基づく労働災害防止対策の推進、労災請求事案の迅速・公正な処理の推進など、引き続き、これらの重点施策に取り組んでまいります。こうした施策の推進のため、今後とも皆様方のご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。最後になりましたが、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## ■中央労働基準監督署長と建設業労働災害防止協会東京支部中央千代田文京分会長が合同で大規模工事現場のパトロールを実施しました。■

中央労働基準監督署

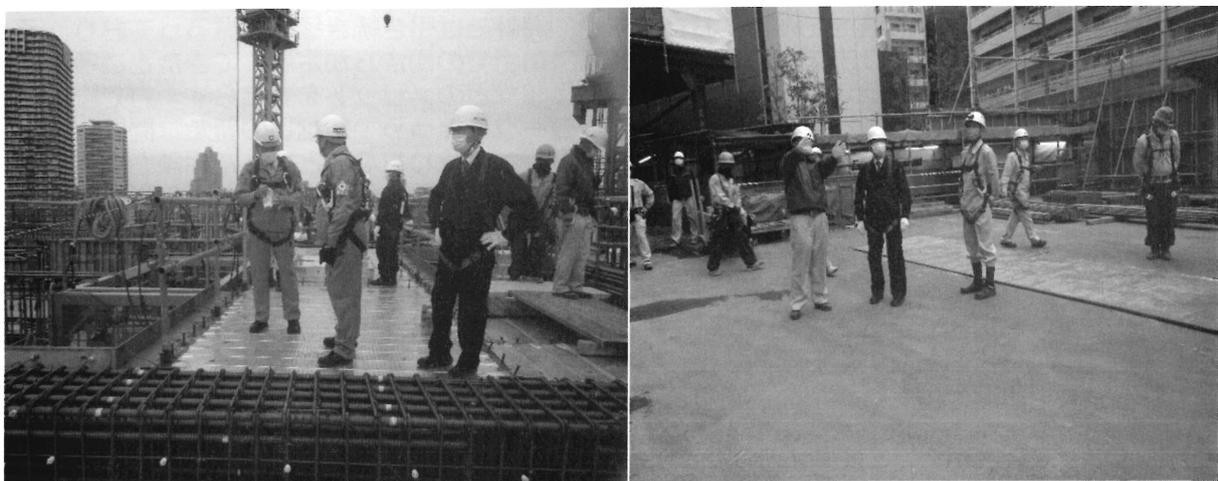
中央労働基準監督署（署長：工藤滝光）は、令和3年12月6日に建設業労働災害防止協会東京支部中央千代田文京分会（分会長：城本政雄）と合同による管内の大規模建設工事現場（清水建設株式会社東京支店 勝どき東地区第一種市街地再開発事業A2地区施設建築物新築工事）に対して、年末年始期の労働災害防止を目的とした安全衛生パトロールを実施しました。

令和3年の都内における建設業での休業4日以上死傷災害は11月末日までに971件発生しており、前年同時期に比べて131件（15.6%）増加をしています。死亡災害についても18名で前年同時期より6名の増加と誠に憂慮すべき状況にあります。

このため、繁忙期となり作業が輻輳する年末に向けて、建設現場の労働災害防止の徹底及び労働災害防止意識の高揚のための取組として安全衛生パトロールを実施しました。

パトロールでは、現場巡視の前に清水建設株式会社の中村所長より工事概要等の説明を受け、現場巡視を行い、墜落防止対策の状況や火気管理対策、新型コロナウイルス感染症対策の状況等について確認をしました。

最後に中央労働基準監督署 工藤署長の挨拶により閉会としました。



令和4年度上半期講習カレンダー〔令和4年4月～令和4年9月〕  
 (公社)東基連 中央労働基準協会支部

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8  
 TEL03(3263)5060 FAX03(3263)6485

ホームページアドレス <https://www.toukiren.or.jp/shibu/chuo/>

講習名		月 日	令和4年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
技能講習	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習				22～24日			28～30日
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習		21・22日		7・8日		25・26日	
	石綿作業主任者技能講習			18・19日		7・8日		8・9日
教特習別	第2種酸素欠乏危険作業特別教育 (酸素欠乏症・硫化水素中毒危険作業にかかる特別教育)				28日			
法定講習等	安全衛生推進者養成講習			12・13日		14・15日		
	衛生推進者養成講習		27日		10日			20日
	安全管理者選任時研修			26・27日		11・12日		5・6日
	雇入れ時の安全衛生教育		11日 13日 15日 18日 25日					
受験準備	衛生管理者試験受験準備講習	第1種 3日		23～25日		20～22日	17～19日	
		第2種 2日		23・24日		20・21日	17・18日	
その他安全衛生講習	熱中症予防管理者(指導員)研修			9日	9日 29日			
	心とからだの健康講座(開催日未定)					○		
	初級衛生管理者実務講座(開催日未定)							○
人事労務講習等	新規労務担当者向け実務講習			16・17日				
	労働保険(年度更新)・ 社会保険(算定)事務手続講習				14日			
	初級講習 者座	労働基準法等基礎講座(開催日未定)						○
		社会保険【健保・年金】基礎講座 (開催日未定)					○	
	中級講習 担当者向け	労災保険実務講座【2回セット】					6日 13日	
雇用保険実務講座		19日						
大会等	中央安全推進大会(銀座プロッサム)【予定】				17日			
	中央健康推進大会(銀座プロッサム)【予定】							15日

※講習等の日程及び内容に関しましては、変更になる場合がございますので、ご了承ください。(その他安全衛生・人事労務講習等は、一部【案】を含みます。)  
 ※講習会場は、原則、中労基協ビル4階ホールです。(大会等は、除く。)

■ 中央労働基準協会支部 講習会開催予定（令和4年1月～令和4年3月） ■

令和3年12月17日現在

講習名		受講費 (テキスト・税込)	1月	2月	3月
技能講習	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	21,310			定員締切
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	14,580	定員締切	定員締切	定員締切
	石綿作業主任者技能講習	14,580	定員締切	定員締切	
教特別	第2種酸素欠乏危険作業特別教育 (酸素欠乏症・硫化水素中毒危険作業にかかる特別教育)	9,810		18日	
法定講習等	安全衛生推進者養成講習	14,030		9・10日	
	衛生推進者養成講習	9,500	18日		18日
	安全管理者選任時研修	(会員)10,500 (非会員)12,500	27・28日		10・11日
	リスクアセスメント担当者研修	(会員)10,500 (非会員)12,500		15日	
受験準備	衛生管理者試験受験準備講習	第1種3日	(会員)20,000 (非会員)23,000		2～4日
		第2種2日	(会員)17,800 (非会員)20,800		2・3日
安全衛生・ 人事労務講習	こころとからだの健康講座	無料		8日	
	女性関連セミナー	無料		24日	

※講習会場は、原則、中労基協ビル4階ホールです。日程及び内容については、変更になる場合があります。

## 謹賀新年

中央労働基準協会支部 職員一同

あけましておめでとうございます。  
旧年中は多大なるご支援・ご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。  
本年も職員一同更なるサービスの向上に努めてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

顧問	駒場 修一
事務局長	古賀 睦之
事務局次長	高橋 伸夫
講習課長	古森 一司
総務係長	田口 幸子
事務組合係長	大塚 美代
講習係員	松井 憲一

